

令和4年度事業報告について

令和4年度においても「神戸市民の福祉をまもる条例」の理念にのっとり、神戸市、事業者及び市民の三者が有する人材、資力などを総合的に活用することによって市民福祉を振興するための事業を創造・推進し、市民福祉の向上に寄与することを目的として事業を実施した。

事業の実施にあたっては、引き続き新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じつつ、2025(令和7)年における当協会のあるべき姿及び取り組むべき重点施策を示した「2025ビジョン」(平成30年6月策定)や、新たな福祉課題に対応するため神戸市が令和元年度に設置した「しあわせの村リニューアル検討有識者会議」の提言(令和2年3月)の実現を目指し、各種事業や取り組みを進めた。

令和4年度事業報告

※事業実績の〈 〉内は、令和3年度実績を示す。

【公益目的事業】

I 市民の福祉意識の啓発並びに福祉活動の普及及び助長[公1] 96百万円

「神戸市民の福祉をまもる条例」の理念を実現し、人口減少や少子超高齢社会の進行や地域社会の希薄化に伴う福祉課題の複合化・複雑化などに対応するため、市民に対する福祉意識の啓発や、市民の福祉活動を振興する事業を実施した。

1 ユニバーサル社会構築に向けた取り組み

(1) ユニバーサルデザイン(UD)の普及啓発

市民の思いやりの心を育み、福祉について学ぶための機会づくりを目的に、学校・地域団体等を対象に、障がいを理解するための体験やしあわせの村におけるあらゆる利用者に配慮した取り組み等(UDスポット)の紹介など、しあわせの村の資源を活かした「ユニバーサル体験学習」を実施した。

また、市内の小学校を対象とした「UD出前授業」、出前授業の市民講師を務めるサポーターの活動の場である「UD広場」、体験型のイベント「しあわせの村ユニバーサルフェスタ」を実施した。

[実施実績]

- ① ユニバーサル体験学習 [参加者数] 1,486名(29団体)〈808名 17団体〉
- ② UD出前授業 [訪問学校数] 20校 [参加者数] 1,560名 〈51校 3,720人〉
- ③ こうべUD広場 [実施回数] 15回 [参加者数] 延132名 〈9回 延92人〉
- ④ しあわせの村ユニバーサルフェスタ [参加者数] 約1,800人〈約1,800人〉

(2) 聴覚・視覚障がいの理解

ソーシャルインクルージョンの実現を図るため、聴覚・視覚障がいについて市民の理解を深めることを目的として、手話及び点字の講座を行った。

[実施実績]

① 手話講座

(入門課程フォローアップ講座)

[実施回数] 2期・全10回 <全12回> [受講者数] 35人 <19人>

(基礎課程フォローアップ講座)

[実施回数] 2クラス・全10回 <2クラス・全10回> [受講者数] 21人 <32人>

②点字講座 [実施回数] 1期・全35回 <1期・全35回>

[受講者数(修了者数)] 14人(13人) <9人(9人)>

③短期手話講習会 [実施回数] 2クラス・全4回 <2クラス・全4回>

[受講者数] 39人 <48人>

④こども手話講座 [実施回数] 1期・全10回 <1期・全10回>

[受講者数] 19人 <18人>

⑤夏休みこども手話教室 [実施回数] 全1回(2クラス) <中止>

[受講者数] 40人 <中止>

⑥夏休みこども点字教室 [実施回数] 全1回(2クラス) <2クラスのうち1クラス中止>

[受講者数] 28人<11人>

(3) 「KOBE しあわせの村ユニバーサルカレッジ」の運営(文部科学省受託事業)

学校卒業後の障がいの生涯学習の機会として、幅広い分野の講義の受講、クラブ活動や世代間交流行事を通じて、主体性を育み、仲間づくりを実現することを目的とした「KOBE しあわせの村ユニバーサルカレッジ」を実施した。

[実施回数] 9回 [受講者数] 42人 <6回・30人>

(4) 市民福祉活動支援

社会福祉の実現に向け、福祉団体等が、市民の交流や福祉の推進を目的としてしあわせの村で実施した「チャレンジド・ドローン講習会」や「パーキンソン病患者家族交流会」などの活動に対する支援を行った。

(5) 移動型バリアフリートイレ開発に向けた実証実験

包括連携協定を締結している神戸学院大学と連携し、トヨタ自動車株式会社が開発に取り組む移動型バリアフリートイレ(モバイルトイレ)について、こうべ福祉・健康フェアやユニバーサルフェスタへの出展及び村内での実証実験に協力した。

(6) サテライトスペースの運営

課題解決に取り組むための多様な人・団体との連携を促進するため、神戸市が令和3年度にたんぼぼの家2階に開設したサテライトスペースを運営した。

2 健康寿命延伸（認知症・フレイル予防）の促進

(1) 「しあわせの村健康倶楽部」の運営

神戸市民の健康寿命延伸、認知症神戸モデルの推進を目的に、介護・認知予防対策として、しあわせの村を有効活用し、「しあわせの村健康倶楽部」の運営を行った。

- 健康増進セミナー [実施回数] 3回 [参加人数] 99人 <5回 146人>
- 登録会員数 574人（令和5年3月末時点）<令和4年3月末時点 311人>

(2) 認知症・フレイル予防の推進

東京大学高齢社会総合研究機構が提唱するフレイル予防の取り組みである「市民サポーターによるフレイルチェック会」を神戸市より委託を受けて実施した。

- [実施回数] 15回 [参加者数] 158人

(3) 全国健康福祉祭(ねんりんピック)への神戸市代表選手の派遣

高齢者のスポーツと文化の振興を図り、高齢者の健康に寄与するため、「第34回全国健康福祉祭神奈川・横浜・川崎・相模原大会」に各競技団体が選出した選手を神戸市代表選手団とした派遣した。なお、「こうべ長寿祭」「全国シルバー合唱コンクール」は新型コロナウイルス感染症感染拡大の収束が見通せないことから中止とし、「ふれあいウォークラリー」「高齢者美術作品展」は長寿祭の冠を外し、実施した。

① 第34回全国健康福祉祭神奈川・横浜・川崎・相模原大会

[開催期間] 11月12日～15日 [神戸市代表] 12種目97人、美術作品9点 <中止>

② 美術作品展 [実施期間] 12月16日～19日 [出展作品数] 209点 <191点>

③ ふれあいウォークラリー [実施日] 10月22日 [参加者数] 281人 <中止>

3 「こうべ医療者応援ファンド」の運営

令和2年度より運営を行ってきた新型コロナウイルス感染症患者の治療等にあたる医療従事者を応援する基金「こうべ医療者応援ファンド」の運営を引き続き行った。

[寄付金受入額] 879万2,180円 <1億2,261万5,466円>

[医療機関への支援金配分額] 1億6,105万8,800円 <1億6,008万円>

II 総合福祉ゾーン「しあわせの村」をはじめとする市民福祉施設の管理運営

[公2] 476百万円

市民の心身の健康や福祉の増進を図るための市民福祉施設において、施設の管理運営を通じて、市民福祉の向上を目指す事業を実施した。

特に「しあわせの村」においては、共同事業体及び村内施設と連携し、「神戸市民の福祉をまもる条例」の基本理念である「自立と連帯」の実現を目指し、高齢者・障がい者をはじめとするすべての市民が、あたたかいふれあいの中で思いやりや助け合いのこころを育み、「つどい」・「楽しみ」・「学び」・「憩う」ことができるよう運営の充実を図った。

さらに、withコロナを見据え、市民の施設に対するニーズの変化などに対応しながら市民相互の新たな交流の場や賑わいづくりに取り組んだ。

	利用者数	対令和3年度比
入村者数	1,715,700人	+37,200人 (+2.2%)
施設利用者数	875,406人	+166,683人 (+23.5%)
宿泊施設	44,017人	+20,349人 (+86.0%)
温泉	175,622人	+42,281人 (+31.7%)
屋内運動施設	214,414人	+38,898人 (+22.2%)
屋外運動施設	379,354人	+45,384人 (+13.6%)
研修館等	61,999人	+19,771人 (+46.8%)
イベント等	49,387人	+27,189人 (+22.5%)

1 高齢者・障がい者が主役の村づくり

(1) 神戸市シルバーカレッジの運営

「再び学んで他のために」をモットーに、健康ライフ、国際交流・協力、生活環境、総合芸術の4つのコースの専門授業と、全コースの学生を対象とした社会貢献などの共通授業やスポーツ授業を実施するとともに、市民救命士講習や認知症サポーター養成講座を開講した。

また、在學生や卒業生の社会貢献活動を通じて小学校での児童の見守り、植栽の剪定作業等の支援活動や、地域のリーダーとなる人材の育成に取り組むとともに、活動に対する誇りとモチベーションを高め、さらなる活力の源となるよう活動の成果を積極的に発信した。

[令和4年度入学者数] 312人(うち、再入学者数 87人) <259人(うち、再入学者数 49人)>

[令和4年度末在籍学生数] 720人 <798人>

健康ライフ(健康福祉)コース 131人 <115人>

国際交流・協力コース 128人 <168人>

生活環境コース 126人 <149人>

総合芸術コース(4専攻) 335人 <366人>

(2) 「NPO法人社会還元センターグループわ」との連携

神戸市シルバーカレッジ卒業生の社会貢献活動の機会を広げるため、「NPO法人社会還元センターグループわ」と連携し、「わいわいストリート（昔あそび体験）」、「夏休み工作塾（創作活動体験）」、「ビバ！ハロウィン（季節の子ども向けイベント）」などの世代間交流を通じた子育て支援事業について、企画段階から参画を得て実施した。

また、「KOBE しあわせの村ユニバーサルカレッジ」などの事業にも参画してもらい、事業の活性化に寄与いただいた。

- ① わいわいストリート [実施日] 5月5日 [参加者数] 623人 <中止>
- ② 夏休み工作塾 [実施日] 8月6日 [参加者数] 120人 <124人>
- ③ ビバ・ハロウィン「こうべっこひろば」
[実施日] 10月30日 [来場者数] 1,362人 <1,309人>
- ④ 「KOBE しあわせの村ユニバーサルカレッジ」の運営
- ⑤ 「しあわせの村健康倶楽部」の運営

(3) 企業・大学と連携した“しごと”創出の基盤づくり

村内における障がい者の就労を進めるため、「しあわせの村実習受け入れセンター」を起点として、神戸市教育委員会や特別支援学校、しごとサポート等と連携し、村内事業所における実習実施のためのマッチングやサポートに取り組んだ。

また、しあわせ農園における障がい者や引きこもりの方、発達障がい者などを対象とした農業体験を引き続き実施し、社会参加のきっかけづくりに取り組んだ。

さらに、東京大学先端科学研究センターと連携した超短時間インターンシップによる市内特別支援学校と連携した在校生の就労体験など、新たな雇用の仕組みや研究・知見を活用した村内での障がい者の新たなしごとづくりにも取り組んだ。

[実施実績]

- ① 職場体験実習 [受入施設数] 4施設 [受入人数] 43人 <4施設 25人>
- ② 農業体験 [参加施設数] 5施設 [参加人数] 延764人 <6施設 延310人>
- ③ 超短時間インターンシップ [参加人数] 4人（新規）

(4) こころのアート展・こころのアートギャラリー

障がい者の芸術作品の魅力を発信し活動の場を拓くとともに、その創作作品を通じて障がい者のみならず健常者にも感動や勇気を与える芸術活動に取り組む障がい者を兵庫県内から公募し作品展を実施した。さらに、出展作品から着想を得て選曲・演奏する市民等を公募し、こころのアート展会場内で音楽演奏とアート作品のコラボレーションイベントを実施した。

また、本館・宿泊館2階の「こころのアートギャラリー」において企画展を実施し、年間を通して障がい者アートに触れる機会を提供した。

- ① 第11回こころのアート展
[実施期間] 12月15日～1月15日 [来場者数] 7,755人 <2,893人>
- ② 十人十色展
[実施回数] 4回 <4回>

③第28回徳島障がい者芸術祭エナジー特別出展

[実施期間] 10月4日～9日

④神戸旧居留地×「こころのアート展」2022

[実施期間] 12月8日～12月21日 [作品展示場所] 9カ所 <11カ所>

⑤しあわせミニライブinこころのアート展

[実施日] 1月5日, 8日, 12日 [来場者数] 801人

⑥神戸リハビリテーション病院特別展

[実施期間] 2月4日～26日

⑦リハ・神戸特別展

[実施期間] 2月28日～3月26日

⑧三井住友銀行特別展

[実施期間] 3月2日～29日

(5) 障がい者事業所製品の販売支援

本館・宿泊館1階コンビニエンスストアに併設する「はっぴねすコーナー」において、市内障がい者事業所製品の紹介・販売を引き続き行った。

また、村内障がい者施設による「缶バッジ☆マグネット製作隊」の活動を引き続き支援を行った。

[実績]

- ① はっぴねすコーナー売上額 5,330千円 <3,268千円>
- ② はっぴねすコーナー出店施設 39団体 <36団体>
- ③ 缶バッジ☆缶マグネット製作隊受注実績 6,530個 <10,540個>

(6) ボランティア活動の推進

しあわせの村内でさまざまな役割を担っていただくため、あらゆる世代の市民を対象にボランティアとして参画を求めた。

[ボランティア登録者数/活動者数]

- ①障がい児・者向けスポーツ教室指導補助ボランティア
37人/延263人 <31人/延554人>
- ②社会人ボランティア 29人/延259人 <46人/延163人>
- ③ユース(大学生)ボランティア 49人/延213人 <37人/延351人>
- ④花緑ボランティア 14人/延715人 <21人/延668人>

2 パラスポーツの振興

(1) パラスポーツの普及拡大・障がい者スポーツの振興

障がいのある人もない人も共にパラスポーツを楽しみ、相互理解を深めることができる環境づくりを進めるとともに、気軽にパラスポーツを楽しむことができるイベントを関係団体との共催で実施するなど、パラスポーツの普及・拡大を図った。

また、障がい者の健康増進、心身機能の維持・向上や生きがいを目的に、各種スポーツ教室を実施した。

さらに、神戸2024世界パラ陸上競技選手権大会の広報支援としてユニバーサルフェスタにおけるブース出展などに協力した。

① 障がい者スポーツ教室

[実施種目] 水泳、卓球、親子運動、テニス、アーチェリー、ニュースポーツ

[実施回数] 水泳、卓球、親子運動 年2期

テニス 年6期

アーチェリー 年4期

ニュースポーツ 随時

[受講者数] 350人 <497人>

② スポーツ交流イベント

パラスポーツ王国HYOGO & KOBE 夢プロジェクト2022(兵庫県、神戸市などと共催)

[実施日] 11月3日 [参加者数] 3,510人 <3,800人>

トレイルオリエンテーリング(神戸市社会福祉協議会などと共催)

[実施日] 11月13日 [参加者数] 28人 <121人>

ふれあいラン(主催である「しあわせNEWYEARマラソン実行委員会」に参画)

[実施日] 1月9日 [参加者数] 14組44人 <9組28人>

シッティングバレーボール大会(神戸市社会福祉協議会と共催)

[実施日] 2月26日 [参加者数] 9チーム75人 <8チーム66人>

ふれあい卓球大会(フレンドリー卓球大会実行委員会と共催)

[実施日] 9月11日 [参加者数] 73人 <61人>

(2) ふれあいスポーツチャレンジ

市立特別支援学校等と連携し、運動を通じた障がい者の居場所づくりや、スポーツへの興味や関心・仲間づくりのきっかけづくりを目的とした「中高生パラスポーツクラブ」を実施した。

また、発達の気になる児童とその保護者を対象とした「のびのび運動ひろば」や、市立小学校特別支援学級の児童とその保護者を対象とした「水中運動ひろば」を実施した。

[実施実績]

① 中高生パラスポーツクラブ [参加者数] 66人 7校(新規)

② 水中運動ひろば [参加者数] 39人(新規)

③ のびのび運動ひろば [参加者数] 60人 <60人>

3 あらゆる子どもの成長支援

(1) 野外活動を通じた支援

当協会が包括連携協定を締結している(公財)神戸YMCAと連携し、野外活動を通じた学びや体験の機会を提供する「しあわせの村×YMCA森の学校」や、障がいのある子どもとその家族が、野外でのキャンプやレクリエーション活動を楽しみ、交流を図ることを目的とした「家族で楽しむキャンプ入門」を実施した。

[実施実績]

① しあわせの村×YMCA森の学校 [参加者数] 31人 <29人>

②家族で楽しむキャンプ入門 [実施日] 7月30日, 11月19日 [参加者数] 254人<231人>

(2) ふれあいスポーツチャレンジ (再掲)

市立特別支援学校等と連携し、運動を通じた障がい者の居場所づくりや、スポーツへの興味や関心・仲間づくりのきっかけづくりを目的とした「中高生パラスポーツクラブ」を実施した。

また、発達の気になる児童とその保護者を対象とした「のびのび運動ひろば」や、市立小学校特別支援学級の児童とその保護者を対象とする「水中運動ひろば」を実施した。

(3) 親子・世代間交流の場の提供 (再掲)

「グループわ」と連携し、「わいわいストリート (昔あそび体験)」、「夏休み工作塾 (創作活動体験)」、「ビバ! ハロウィン (季節の子ども向けイベント)」などの世代間交流を通じた子育て支援事業を実施した。

(4) 学生ボランティアの活動支援

協会事業に大学生ボランティア (ユースボランティア) の参画機会をつくり、参加した学生自身が学び、成長していくことを支援した。

(5) 子育て支援駐車料金無料化

神戸市が進める子育て支援施策として、18歳未満の子どもとともにしあわせの村を利用した場合に、普通車駐車料金の無料化を引き続き実施した。

[子育て支援無料化台数] 121, 598台 <110, 095台>

4 しあわせの村の活性化

(1) 市民福祉・交流事業

① しあわせの村まつり

村内事業者・施設や近隣自治会と連携し、市民の交流を促すステージや縁日、手持ち花火等で構成するイベントを実施した。

[実施日] 8月28日, 29日, 9月11日, 23日, 25日 [来場者] 9, 359人

② 健康増進フェア

健康をテーマとしたブース出展、体操プログラムや健康チェックなどの体験を通して、健康リテラシーを高め、関心と理解をより深める場を提供した。

[実施日] 4月23日 [来場者数] 413人

③ こうべ福祉・健康フェア

市民の福祉や健康に関する意識を高めるため、神戸市、神戸市社会福祉協議会やふれあいのまちKOBE・愛の輪運動推進委員会などと連携して実施した。福祉施設や障がい者団体等によるバザーや模擬店、福祉機器の展示や子ども向けの体験イベントなどを行った。

[実施日] 10月2日 [来場者] 9, 171人

④ 村の魅力ある自然環境を楽しむ

「いやしの小径」や日本庭園をはじめとするしあわせの村の公園施設を活用し、各種イベントなどを通じて「自然から得られる癒やし」を提供した。

「ユニバーサル農園」においては、レクリエーションや障がい者の機能回復等を目的として、村内の福祉施設の高齢者や障がい者や児童に野菜の栽培や収穫等の農園活動の体験機会を提供する。

i 夜桜ライトアップ

[実施日] 令和4年3月29日～4月10日 [参加者数] 6,647人<中止>

ii 植物散策会 [実施日] 6月26日 [参加者数] 29人<17人>

iii 緑のオリエンテーリング

[実施日] 10月9日

[参加者数] 藍染体験 20名 クイズラリー 70名 ラベンダーサシェ作り 11名
<藍染体験 54人 クイズラリー 98人>

iv 脱穀体験会

[実施日] 10月23日 [参加者数] 脱穀体験67人、縄あみ体験51人<脱穀体験50人>

v 紅葉ライトアップ

[実施日] 11月2日～11月13日 [来場者数] 3,080人<4,412人>

vi イルミネーション（本館ロータリー前）

[実施日] 11月19日～2月12日

vii ユニバーサル農園活動

[参加団体数] 8団体 [参加人数] 延1,528人<延1,384人>

(2) 総合的な維持管理運営

① 村内施設・事業者との連携

村内の医療福祉施設や事業者によるしあわせの村会議を開催し、社会的課題に関する意見交換や研修会などを行った。

[実施回数] 2回 <4回>

② しあわせの村の維持管理運営

- ・しあわせの村を訪れるだれもが安全・安心・快適に利用できるよう、施設の保守・修繕や警備、無料巡回バスの運行等の総合的な維持管理を行った。
- ・一年中花を見ることができ、市民の憩いとリフレッシュの場として人気が高い緑地について、引き続き快適な空間として利用いただけるよう維持管理を行った。
- ・高齢者や障がい者の利用割合が高い施設の特性を考慮しながら、協会において策定した「しあわせの村ユニバーサルデザイン推進指針」に基づき、だれにでもやさしい村づくりを進めた。
- ・SNSをはじめ様々な広報媒体や機会を活用して村の取り組みや魅力を効果的に発信し、利用者の増加を目指した。また、しあわせの村の利用者の意見をさまざまな改善等に反映させるため、入村者アンケート調査を実施した。

5 平磯児童館の運営（地域内の児童館統合により、令和5年3月31日をもって閉館）

(1) 児童健全育成事業

自由来館児童への遊びの提供・指導、季節行事、在宅福祉センターや地域福祉センターの高齢者との交流会等を実施した。

(2) 子育て支援事業

- ・「幼児の会」（毎週1回、2～5歳児の親子を対象にした手遊び等のプログラム）
- ・「ミニミニっ子」（毎月1回、0～2歳児の親子を対象にした手遊び等のプログラム）
- ・「すくすくひろば」（毎月1回、地域団体が実施する0～5歳児の親子同士の交流を図るための季節行事等のプログラム）

[来館者数] 6,390人 <5,733人>

Ⅲ 介護保険制度の公正・公平な運営を確保するための事業[公3] 377百万円

1 介護保険認定調査業務

市内全域における介護保険サービスの受給を新たに申請する市民、及び要介護度の変更を申請する市民に対して訪問・調査を行う「要介護認定調査業務」を、神戸市との業務請負契約により実施した。

[調査件数] 36,816件 <35,289件>

2 介護保険事業者運営指導業務

介護保険法に基づく市内介護保険事業者に対する運営指導業務の一部を神戸市より受託し実施した。

[運営指導件数] 240事業所

【収益事業等】

指定管理施設に付帯する便益施設及び市民福祉施設の運営等 409百万円

1 しあわせの村内便益施設の運営

① 有料駐車場

[神戸市シルバーカレッジ学生定期券発行枚数] 343枚 <334枚>

[有料利用台数] 213,911台 <202,850台>

[子育て支援無料化台数] 121,598台 <110,095台>

② 公衆電話 [設置台数] 4台<4台>

③ 屋外アドベンチャー遊具（民間事業者と連携し設置）

[運営事業者] 株式会社冒険の森

[利用者数] 24,594人 <22,160人>

2 神戸市シルバーカレッジ施設の一般供用

<<ホール等>> 1,323人 <443人>

3 保養センター太山寺・ラジウム温泉太山寺

市民の健康の保持・増進を図るための同施設について、民間事業者による運営を引き続き行った。

[運営事業者] 株式会社なでしこの湯

[利用者数] <<宿泊>>7,006人 <4,385人> <<温泉>>163,014人 <144,879人>

4 サン舞子マンション

令和4年度中の入居者3名の退居をもって、平成23年度に社会福祉法人へ事業承継した際の全入居者29名が退居したため、協会としてこれまで行ってきた入居預り金の管理業務を終息した。